



[様式第3号]

資料提供年月日	令和4年4月28日	
問い合わせ先	課名	政策企画課
	電話	直通 803-1043 内線 3587
担当者	職名・氏名	担当課長 岡本
	職名・氏名	課長補佐 藤田

広 報 連 絡

1 件 名

「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」の募集を開始します

2 趣 旨

岡山市は、地域づくりを担う人材育成と若者の地域への定着を推進するため、若者の柔軟なアイデアの提案・実践による地域課題の解決や、新たな商品やサービス等を開発する小規模ビジネスの実現に対し、補助金を交付して支援する「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」を実施します。

3 募集対象

岡山市内の大学・短期大学・専門学校及び岡山市と包括的な連携協力に関する協定を締結している岡山市外の大学・短期大学の学生。

4 募集内容

①活動グループ

- ・学生ソログループ：単一大学等の学生3名以上と、当該大学等の教職員を代表者として構成したグループ。
- ・学生ジョイントグループ：複数の大学等の学生で構成したグループ。

②補助金額等

- ・1グループあたりの補助限度額 30万円、補助率 10/10 (※)
※補助金の交付には審査があります。

③募集期間

- ・学生ソログループ 4月28日(木)～5月31日(火)
- ・学生ジョイントグループ 4月28日(木)～5月31日(火)

④募集グループ数・人数

- ・学生ソログループ：15グループ
- ・学生ジョイントグループ：40名(参加申込の先着順)

(裏面有)

5 備 考

参考資料

- ・資料1 「学生ソログループ部門」リーフレット
- ・資料2 「学生ジョイントグループ部門」チラシ
- ・資料3 「令和3年度学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」
事業一覧

★申請方法について

ステップ ① 申請したいと思ったら・・・

まずは、先生や事務職員さんに相談してみましょう。本事業は、大学等の教職員が団体の代表者である必要があります。
 加えて、第2期岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略を読むことをお勧めします。
 また、事業実施の背景や地域のニーズ等について、できる限り、地域の方や関係する行政機関等の意見を聞いてください。
 自分がやりたいことをするのは大事なことですが、地域の方の思いも反映されるような取組となるように考えてみてください。



ステップ ② 申請書を書いてみよう！

本事業に係る要綱及び申請書の様式等は、右のQRコードから岡山市HPにアクセスしてダウンロードできます。(https://www.city.okayama.jp/shisei/0000027917.html)

記入のポイント

- 審査基準をチェックしよう！
- ステップ①で地域の方等に意見を聞いていたら、そのことも記載しよう！
- 協働する相手が見つからない場合は、ステップ③で相談してみましょう。協働する相手を見つけるために協力します。

ステップ ③ 困ったら相談しよう！

募集期間中は、随時、申請相談を受け付けます。活動内容や協働する相手など、お困りの点について、ご相談ください。
 なお、相談にあたっては、申請書(未完成の状態でも構いません)を下記問い合わせ先までメールでご提出ください。

ステップ ④ 申請しよう！

募集期間内に申請書類を提出してください。

募集期間	令和4年4月28日(木)～5月31日(火) ※郵送の場合は同日必着、持参の場合は午後5時必着
提出物	申請書類 5部 ※参考資料がある場合それらも5部
提出方法	下記問い合わせ先へ郵送又は持参にて提出 ※メール、FAX等での提出は受付できません。

問い合わせ先

岡山市政策局政策企画課(学生イノベーションチャレンジ推進事業担当)
 TEL:086-803-1043 / FAX:086-803-1732
 (※土・日・祝日を除く 8:30～17:15)
 Mail:seisakukikaku@city.okayama.lg.jp
 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1

令和4年度

学生イノベーションチャレンジ 推進プロジェクト 学生ソログループ部門

募集期間

令和4年

4月28日(木)～5月31日(火)



<本事業への寄附企業>長瀬産業(株) ベストセレクション(株)
 ※国の地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を通じて、令和3年度に寄附をいただきました。

★「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」について

学生をはじめ若者の存在は地域に活力をもたらしています。地域づくりの次代を担う人材が地域に住み続け、活躍するまちづくりを進めていく必要があります。

岡山市では、大学生等が企業や地域、NPO等と協働して、若者ならではの柔軟なアイデアの提案・実践による地域課題の解決や、大学等で学んだスキルを活用した小規模ビジネスの実現に取り組む活動に対し、補助金を交付して支援する「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」を実施します。

★学生ソログループ部門の対象団体・申込・活動等

<対象団体>

岡山市内の大学・短期大学・専門学校及び岡山市と包括的な連携協力に関する協定を締結している岡山市外の大学・短期大学（※）の、教職員を代表者とした参加学生3名以上で構成されている団体・グループ。

（※）岡山県立大学、川崎医科大学、川崎医療福祉大学

<申込>

在籍する大学等の感染対策ガイドラインに則って、本事業に申し込んでいただきます。

コース	概要	取組例
ソーシャルビジネスチャレンジ	行政機関、企業、NPO及び地域団体等と協働し、岡山市内における地域課題の解決や地域活性化を図る事業	<ul style="list-style-type: none"> ○人、地域、社会、地球環境に配慮した消費につながる商品開発 ○ダンスを通じて防災の心構えを普及 ○商店街振興 ○岡山連携中枢都市圏の特定課題（※1）
スモールビジネスチャレンジ	収入計画を策定した上で、新たな商品やサービス等の開発、販売等の小規模ビジネスの実現を目指す事業	<ul style="list-style-type: none"> ○地域特産品がもつ商品力の向上と販売促進 ○学生のスキルを活用したシェアリングエコノミー型サービスの開発

<（※1）岡山連携中枢都市圏の特定課題とは>

・今年度から、岡山市内での活動に加え、別紙「岡山連携中枢都市圏の特定課題一覧」に掲載している活動についても対象とします。

※岡山連携中枢都市圏とは、岡山市と社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村（8市5町）とで形成する都市圏のことであり、本事業の対象は、「備前市」「真庭市」「久米南町」「吉備中央町」です。

<新型コロナウイルス感染症に対する対応について>

学生は、**岡山市の感染症対策ガイドライン及び岡山県の要請に従うとともに、適切な行動を心がけてください。**感染対策を遵守していない場合は、グループ活動の停止又は中止を検討します。

※今後の感染状況によっては、オンラインでの活動に変更する場合があります。

「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」は、地域貢献を通じて、社会が求める『実践力・実践知』を鍛える絶好の機会です！

★補助金額・採択件数

上限 **30万円**（補助率 **10/10以内**）

採択件数 **15件程度**（予定）

★補助金の対象経費について

補助金は大学、短期大学、専門学校に交付します。

補助金の対象となる経費

- ・交通費、宿泊費（活動先への移動にかかる費用など）
- ・通信運搬費
- ・印刷製本費（資料などのコピー代、チラシの作成費など）
- ・保険料（活動に際して加入する保険料）
- ・諸謝金（講師や外部協力者に対する謝金など）
- ・使用料及び賃借料
- ・消耗品費、備品購入費（※1）など

（※1）リースで補えるもの（パソコン、プリンタ、机、椅子等）については、備品購入の対象外となります。

補助金の対象とならない経費

- ・各団体の運営のために支出する経費
- ・事務処理にかかる間接経費
- ・食糧費
- ・人件費など

★審査基準について

下記の審査基準に基づいて申請書類を採点し、審査を行います。

審査項目	審査基準	ソーシャル	スモール
活動のコース	活動の目的が、対象地域にとって必要性・重要性の高いものか。	必須	必須
効果	目的に対する効果が期待できる活動内容となっているか。	必須	必須
協働の深さ	学生と地域の双方が主体的に活動に関わることが出来るか。協働を通じた相乗効果が発揮されているか。	必須	加点
モデル性・将来性	学生と地域の連携モデルとして、他地域へ参考となる活動か。活動内容の深化や拡大、発展などが期待できるか。	必須	必須
アイデア・チャレンジ性	独創性やチャレンジ性のある活動か。	必須	必須
収支予算の適切さ	適切な収入・経費で予算を立てているか。	必須	必須
財源の獲得	事業に必要な財源について、補助金以外の獲得手段を計画しているか。	加点	必須

★スケジュールについて

- ① 申請受付： 5月31日まで随時受付
- ② 補助金交付決定： 6月上旬から随時審査して決定
- ③ 活動期間： 補助金交付決定～活動報告会
※SNS等を活用した情報発信にも積極的に取り組んでください。
- ④ 中間報告会： 10月下旬
- ⑤ 活動報告会： 2月中旬
- ⑥ 実績報告書の提出： 2月末
※活動報告会では、優良事例の表彰も併せて行います。

飛び出せ
学生たち!

学生をはじめ若者の存在は地域に活力をもたらしています。

地域づくりの次代を担う人材が地域に住み続け、

活躍するまちづくりを進めていく必要があります。

岡山市では大学生等が、企業や地域、NPO等と協働して、

若者ならではの柔軟なアイデアの提案・実践による地域課題の解決や、

大学等で学んだスキルを活用した小規模ビジネスの実現に

取り組む活動に対し補助金を交付して支援する

「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」の参加者を募集しています。

令和4年度学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト
学生ジョイントグループ部門

参加者募集中

参加無料
先着40名

申込み締切り
令和4年5月31日(火)

お申込みはこちらから

[https://com.city.okayama.jp/
cmsform/enquete.php?id=286](https://com.city.okayama.jp/cmsform/enquete.php?id=286)



学生イノベーションチャレンジ 推進プロジェクトについて!



他校の仲間と活動する 学生ジョイントグループ部門。

複数の大学等[※]の学生で構成するグループの活動を対象としている部門です。申込み時に選択する活動テーマを参考に、コーディネーターがグループを組成し、その後のグループ活動で活動テーマの詳細を決めていきます。

※大学等とは岡山市内の大学・短期大学・専門学校及び岡山市と包括的な連携協力に関する協定を締結している岡山市外の大学・短期大学のことをさします。



チャレンジする活動テーマは2つから選べる。

【ソーシャルビジネスコース】

行政機関、企業、NPO及び地域団体等と協力し、岡山市内における地域課題の解決や地域活性化を図る事業。

【スモールビジネスコース】

収入計画を策定した上で、新たな商品やサービス等の開発、販売等の小規模ビジネスの実現を目指す事業。

詳しくは
ホームページより
ご確認ください。



申込みから活動の進め方。

経験豊かなコーディネーターが、グループワークのファシリテーション・活動テーマの検討・事業計画策定・実際の活動・補助金及び活動経費の資金管理・市への報告等をサポートします。



参加申込み

岡山市公式ホームページより学生イノベーションチャレンジ推進事業に参加を申し込む。

STEP 1



6月2日(木) キックオフ

学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクトの内容や趣旨を説明し、活動するグループを決定します。

STEP 2



活動・交流・報告

コーディネーターの支援のもと決定したテーマにそって活動します。また協働団体や起業家との交流、年2回の活動報告を行います。

STEP 3

※今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により、オンラインでの活動等に変更する場合があります。



本事業の詳細についてはこちらから

<https://www.city.okayama.jp/shisei/0000036448.html>



申込み締切り/令和4年5月31日(火)

岡山市政策局政策企画課 学生イノベーションチャレンジ推進事業担当
Tel 086-803-1043 Fax 086-803-1732 E-mail seisakukikaku@city.okayama.lg.jp

※いただいたメールアドレス宛に今後「学生イノベーションチャレンジ推進事業」関連情報をお送りすることがありますので、ご了承ください。

	大学等	グループ	コース	事業名	団体名	メディア掲載
1	岡山大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	観光の個人最適化	岡山大学観光DX推進グループ	○
2	岡山大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	防災教育コンテンツ開発と普及啓発	酒向研究室	
3	岡山大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	TRPGを通して学ぶ物語の作法	クリエイティブゲーム振興会	
4	岡山県立大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	空き家・空き店舗の利活用推進による商店街活性化	商店街の空き家・空き店舗利活用プロジェクトチーム	
5	岡山県立大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	表町商店街のブランディングプロジェクト	表町商店街ブランディングプロジェクトチーム	
6	岡山県立大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	「木曜市」のリ・デザインによる商店街活性化	「木曜市」のリ・デザインプロジェクトチーム	○
7	岡山県立大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	食でつながる地域プロジェクト	岡山県立大学栄養学科「おむすび」	
8	環太平洋大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	大学生による若年層を対象とした「表町商店街 公式Instagram<期間限定>」の運用と知名度向上について	環太平洋大学 表町プロジェクト実行委員会	
9	岡山理科大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	大学生主催による市民や子供に向けた文化活動の開催	表町商店街イノベーション・ラボ(イベントグループ)	○
10	岡山理科大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	表町商店街のプロモーションショップ運営事業	表町商店街イノベーション・ラボ(ショップグループ)	
11	ノートルダム清心女子大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	若者視点による岡山市の魅力発信とプロモーション活動の推進	「岡山どこ行く晴れマチnavi」	○
12	ノートルダム清心女子大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	坪田譲治が愛した川と水辺の生きもの世界の探検と発信—SDGsの視点から豊かな自然環境を次世代へ—	ツボジョーワールド探検隊	○
13	ノートルダム清心女子大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	奉還町地域を拠点とする、TFT導入及び、関連施策の実施	清心・奉還町TFTチーム	
14	中国学園大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	動画共有サイト・SNSを活用して若者向けの岡山市情報の発信	中国学園大学 国際教養学部 佐々木ゼミ	
15	山陽学園大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	「池田動物園×ありがとうファーム」の共創支援プロジェクト	山陽学園大学 地域マネジメント学部 SDGs推進チーム	
16	岡山商科大学	ソログループ	ソーシャルビジネス	高齢者の雇用機会の確保と意識改革	國光ゼミ	
17	専門学校ビーマックス	ソログループ	ソーシャルビジネス	桃太郎伝説や日本遺産(造山古墳など)を活用した岡山活性化プロジェクト	学校法人武田学園専門学校ビーマックス	
18	—	ジョイントグループ	ソーシャルビジネス	イベント (岡山市はベトナム人労働者が多いことから、ベトナム料理を通じて、日本人のベトナム等の異文化交流を図る)	レホイ	○
19	—	ジョイントグループ	スモールビジネス	廃棄野菜・果物の活用 (廃棄野菜・果物を染料として使用し、それで染めた商品を販売する)	Connect	○
20	—	ジョイントグループ	ソーシャルビジネス	新しい形のまちおこし空き家活用プラン作り (空き家のDIY、家庭菜園モデルハウスのプランを作成する)	チームd	